						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
八平工	NI.	イ 5 不口	基本	チャレン	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
分類	No.	チェック項目	<del>基</del> 本   	ジ	(※事業者が記載する欄)	1 紫田色 水色	2 mm & cont	3 すべての人に 一人人	4 州の高い教育を	5 %x>9-796	6 栄全な水とトイレ を世界中に	7 #\$#.5-684.6K	8 #3#U6	9 産業と技術事務の 事類をつくろう	10 AやBの不平等 をなくそう	11 daktiona	12 つくる前任 〇〇	13 気候変勢に 具体的な対策を	14 #08#8£	15 #0#### \$	16 FRICKIE	17 //>->
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		・組織の代表者は、事業理念や法人として目指すべき姿を職員に説明し共有している。 ・職員は毎月1回から2回の全体ミーティングを実施し、円滑な業務体制を維持することで自らの使命を理解し、やりがいを感じている。・組織の目指すべき姿の実現に向けて、商工観光、農林業の垣根を越えた新しい事業に挑戦することで、今までにない高森の観光振興に努めている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組み を構築している。	•		・法令遵守の重要性を職員全員が理解し、様々な法令を確実に順守するために業務毎のマニュアルを作成・共有している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・法人として公正な取引に努め、職員全員に向けてその重要性を発 信、共有している。 ・業界の適正な価格の維持、取引先等からの値引き強制、不当要求に 気を付けている。										10						16	
組	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署など の体制を整備している。	•		・担当者として、事務局長を任命している。 ・代表理事が統括責任者として担当者を任命し、社内体制を整備している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																16	
織•	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・特許や商標、著作権に該当するものを使用する必要が出た場合は、確認と許可を取る等、知的財産保護に取り組んでいる。 ・知的財産に関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9								
公正な取	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・法に従い情報管理、情報漏洩防止を徹底するために担当者を任命し、 職員に注意喚起を呼び掛けている。 ・顧客に関する個人情報が含まれる書類は限定された人員にて厳重に 管理している。			Ā													16	
引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	•		・顧客の声を大事にし、双方向コミュニケーションに努めている。 ・取引先や行政機関など、ステークホルダーと連携した取組みを進めて いる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•	・取引先の事業や活動に関心を持ち、対話の中でパートナーシップについて積極的に検討している。 ・事業の連携先等と、阿蘇独自の生物多様性や生態系保全、CO2排出量の削減をはじめとした地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に努めている。 ・大学や企業と連携し、環境にやさしい手法での商品開発等に積極的に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•	に名が祖心でいる。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等、社内のあらゆる雇用条件及び職 場環境において、差別しない体制整備・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り 組んでいる。	•		・職員の心と体の健康確保や、仕事と家庭との両立を支援するため、職員同士が安心して働くための職場環境を整えるよう日々取り組んでいる。 ・安全配慮義務の観点で業務中の無事故等に取り組んでいる。行政による定期面談やストレスチェックを行い配慮している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応して いる。	•		・雇用形態に関わらず常に職員の公正な待遇を実施している。 ・令和2年度より制度化された会計年度任用職員制度に従い、公正な 待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
労働	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の 両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・職員がそれぞれに合ったより良い働き方を実現するため、残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮などを実施し、有給休暇などの取得を奨励している。 ・決められた時間内に効率よく仕事を消化できるようスケジュールを組み残業無しの管理を徹底している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
働・ 人 権	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・従業員の担当業務に必要なOJT研修・自学習を奨励し、仕事を通じた 自己実現やスキルアップを奨励している。				4	5.5			8	9								
IŒ	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向 上等に取り組んでいる。	•		・職員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、農業体験やスポーツなど 野外活動を推奨している。 ・行政が実施している住民健診等を受診させ、人間ドックは半額費用負 担している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍でき る環境の整備に取り組んでいる。	•		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3	0					16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	・ウェブ会議、事務室の定期的な換気などを徹底している。			3					8	9.1		11	12	1				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•									8	9.1		11	12					

1

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

							主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)														
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み	1 2	2 3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				9	(※事業者が記載する欄)	1 年 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	3 #Aでの人に 3 # # と 報社を	4 質の高い教育を みんなに	5 対象によう	6 安全な水さトイレ を世界中に	7 *****- ******************************	8 #3##	9 産業と技術等級の 基盤をつくろう	10 Aや図の不平等 <b>本</b>	11 dakitena abotye	12 つくる 素性	13 ARTHUR ARTHUR	14 %0808E	15 #08#***  \$\frac{15}{9\chi_{\chi\ti}{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\ti}}\chi_{\chi\ti}}\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\ti}}\chi_{\chi\tingle\tin\tinm\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi_{\chi\tiny\tiny\ti}\chi\tiny\tiny\tin_{\chi\tiny\tin\tiny\tin\tin_{\chi\tiny\tin_{\chi\tiny\tiny\tin\tin_{\chi\tiny\tiny\tin\tin_{\chi\tiny\tin_{\chi\tiny\tiny\tiny\tin\tin_{\chi\tiny\ti\tin_{\chi\tiny\tin\tii\ti}\tin}\chi\tii\tin}\tin\tin_{\chi\tin}\tin_{\chi\tin}\tii\tin}\tin\	16 talvie	17 //->->->- III (IIII (III)
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•			3	4				8	9			12					
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	•		・行政が推奨している可燃ごみ、ビン・缶、資源ごみ、不燃ごみを適切に 分別し、適切な処理・管理を行っている。		3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	•		・電力の節電のため、LED照明へ事務所内の照明を全て取り替えている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出している。						7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	•		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、不必要な電気は直ぐに消灯する等、オフィスの節電に取り組んでいる。	2	.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	•		・事業及び従業員の活動において、物販時マイバック利用を奨励し、廃 プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・産廃となる地元産の檜などの間伐材を活用したかざぐるまを作成し ている。 ・草原を活用した旅行商品の開発などを通して、生物の生息・生育地の 創出に取り組んでいる。					6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	•		・環境に配慮した再生用紙の利用を推進している。 ・会議資料のペーパーレス化、裏紙の利用を促進することでごみを減量 し再資源化に取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・湧水が育まれる上流地域にあることを常に意識し、事務所内の水道 栓を絞り込みで「節水」し自然由来の洗剤を使用することで「汚水等の 適切な処理」等を実施している。	2	.4			6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
_	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・裏紙を利用を推進している。 ・産廃となる地元産の檜などの間伐材を活用した、かざぐるまを作成し ている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15		
環 境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•	・食品ロス削減のため、規格外で出荷できなかった高森町内産の野菜を販売している。	1 2	2			6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	・オフィス敷地内に温暖化抑制のためナンテン等を植栽している。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		•	・ナンゴウヒの端材を使用した商品(かざぐるま)の開発等より、持続可能な森林保全に努めている。 ・職員が木育インストラクター上級の資格を保有しており、木育体験等を実施している。					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		•												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組 んでいる。		•							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

事業者名:

一般社団法人高森観光推進機構

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

												主なSDC	Gs(17の:	ゴールと1	69のター	-ゲット)						
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ЛЖ	NO.	アエック・現日		ジ		1 sine (cer	2 #ME	3 #水での人に 一人人◆	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 無限しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 *****- EAAGE EUT90-26	8 marine	9 産業と技術者能の 条類をつくろう	10 A中国の不平等 をなくそう	11 tablishs	12 つくる R E	13 宋代京称に	14 #08#86 955	15 #08##6 ################################	16 P和と公正を すべての人に	17 //->->>7 (>->>7 (>->->->->->->->->->->->->->->->->->-
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・ツアーの際の下見の際やモニターツアーの実施で危険因子を把握し、 それを避ける企画とすることでリスクの洗い出しと対策を実施してい る。 ・製品安全確保を踏まえた取扱説明書を作成している。			3.9						9			12.4					
集川	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環 境整備を行っている。	•		・ピクトグラムの使用やスロープの設置、おむつ替えスペースを設置す るなど誰もが利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17
製品・#	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•	・熊本県で作られる製品を優先的に使用している。 ・地産地消を推進するため、南郷檜かざぐるまの原材料として南郷檜 を積極的に使用している。 ・高森町内で生産された農産物を販売している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
ソービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木 質化を推進している。		•	・事務所の天井や床、壁に木材を使用している。							7					12.2	13.1		15		
^	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、 地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・職員一人ひとりが地域貢献活動への意識を持ち、ゴミ拾い活動、野焼きボランティア活動等に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	•		・高森町のハザードマップや避難計画を参考に避難所や避難経路を職 員に把握させることで防災に努めている。				4							11.5		13.1			16	
持 続 可	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急 等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加し ている。		•		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
能な社会	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13.1				
地	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
方 創 生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域 の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•					4				8.6		10.2						D.	17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産 業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。